

もくじ

1. みにくいアヒルのこ 2
2. なまりのへいたい22
3. あかいくつ46
4. はだかのおうさま70
5. ゆきのじょおう88
6. おやゆびひめ 114

みにくいアヒルのこ

げんさく： アンデルセンどうわ

イラスト： かつなが みつとし

へんしゅう： イエローバードプロジェクト

あるひの ゆうがた、みにくいアヒルのこが
そらを みあげていると、しろい うつくしい
とりが、むれをなして とんでいました。

「わあ・・・なんてきれいな とりなんだろう。
おおきく はばたいて、りっぱだなあ。
いいなあ、ぼくも とびたいなあ」

みにくいアヒルのこは、
そらのかなたに とんでいく しろいとりを、
うらやましそうに みおくっていました。

きせつは ふゆになり、
みずうみに こおりが はるようになってきました。

みにくいアヒルのこは、ゆきと こおりに
とじこめられて いきばを うしない、
ひとりで ただ じっとしていました。
みずうみのほとりの かれくさのなかで、
さむさに こそえながら、
はるがくるのを まっていました。



つめたい かげが ふき、そらに ゆきが
まいはじめました。

このくにでは ふぶきの ひは、
『ゆきのじょう』が こどもたちを つれさりに、
やまから おりてきているのだと
いわれていました。

なので、けっして こどもたちだけで、
そとに でては いけないのです。

そのひ、とある おとこのこと おんなのこが、
へやで あそんでいました。

おとこのこの なまえは『カイ』。

おんなのこの なまえは『ゲルダ』です。

ふたりは おさななじみで、

いつも いっしょに あそんでいました。

ゆきがやみ、かげが おさまってきたので、

ふたりは そとに あそびに でかけました。

ゆきやまを そりで すべっているとき、

きゅうに カイが そりをとめました。

「どうしたの、カイ？」

「わからない。いま、だれかに

よばれた きがしたんだ。おんなのひとの
こえだったような・・きのせいか」



115

むかし、ある むらに、
ひとりの わかい じょせいが すんでいました。
ひとりぼっちだった かのじょは、
こどもが ほしいと、まいにち かみさまに
おいのりをしていました。

そのかのじょの ねがいが ききいれたのか、
あるばん、かのじょの ゆめのなかに、
かみさまが あらわれました。

かみさまは かのじょに、
ひとつぶの『はなのたね』を あたえました。

『このたねを まいて、たいせつに そだてなさい。
きっと すばらしいことが おこりますよ』

よくあさ、めをさました かのじょの てには、
しっかりと、はなのたねが にぎられていました。
かのじょは さっそく、たねを にわに うえて、
まいにち みずをやり、だいじに そだてました。

